

とち 土地 つるみ 伝説 せんせつ

～まちの伝説を調査せよ！～

今年、90歳を迎える鶴見区。しかし、鶴見のまちとしての歴史はさらにずっと古く、まちのいたるところにいろんな伝説がのこっているらしい。いつも何気なく通るあの道やこの場所にも、聞き捨てならない伝説があるかもしれない…。君も夏休みの自由研究に、そんなまちの伝説について調べてみてはいかがかな？

区役所広報相談係
☎ 510-1680 fax 510-1891

指令1 伝説の地をめぐれ

区内には各所にいろんな伝説や史跡がある。一体、どんな場所にどんな伝説があったのか？まずは自分の足と目で確かめてみよう！

昔アズキババアが出るといわれたザックミ坂

北寺尾に現れる妖怪「アズキババア伝説」

「アズキババア」とは、関東地方に伝わる妖怪で、その名のとおり小川でアズキを洗い、時に子どもを脅かす。北寺尾にある「ザックミ坂」と呼ばれる坂では昔、アズキババアが出るといわれていた。これは、かつてこの坂が夜になると暗くなり危険であったため、子どもたちに近寄らせないようにという親心なのかもしれない。
【北寺尾5-1付近】

池が分かれた理由とは？「ニツ池の竜伝説」

もともとは一つであったニツ池。かつて池に住んでいた竜が、雷鳴とどろく日に天から落ち、その亡骸が堤となり、池を分けたとの言い伝えがのこっている。竜が落ちた理由は、駒岡では食べ過ぎ、獅子ヶ谷では青年に退治されたため、と異なって伝わっている。【駒岡1-8-1】

太田道灌の夢「兜塚の伝説」

約500年前、江戸城築城で有名な太田道灌が加瀬の台(現・川崎市幸区)に野営した際、シラサギに兜をさらわれる夢を見た。夢の中でシラサギが兜を落としたこの丘に、道灌が兜を埋めたことから、兜塚の名がついたと伝わっている。
【駒岡3-40】

玉ネギはどうしてできたか？「おはぎと玉ネぎの伝説」

昔、名のある僧侶が鶴見を訪れた際、信仰心のない男が血で固めたあんで作ったおはぎを出した。しかし僧侶は食べず、おはぎを庭に埋めたところ、そこから芽が出て、根がおはぎのように丸いネギができた。ここから、このネギを「玉ネギ」というようになったという。建功寺【馬場1-2-1】など寺の山門脇には、「不許葷酒入山門(葷酒(ネギなど匂いのある野菜や酒)を持ち込んだり、食べて来てはならない)」と刻まれた石標がある。本来は修行の妨げになるからであるが、寺尾や馬場では、この伝説も一因だと伝わっている。

県下でも有名な奇祭「蛇も蚊も伝説」

400年以上昔、生麦に暮らす青年が、亡き妻との誓いを破り、死別後すぐに再婚した。それに怒った亡き妻は大蛇となり、村に現れるようになった。そこで、村の老人が家の入口にショウブ、ヨモギ、カヤを置けば大蛇が来ないと束にして置いたところ、これを見た大蛇は立ち去ったという。ここから、カヤで作った大蛇を担いでまちをねり歩く「蛇も蚊も祭り」が生まれた。現在、祭りは道念稲荷【生麦4-27】と神明社【生麦3-13】で毎年6月の第1日曜日に疫病退散、豊年豊作、子どもの成長を願って催されている。

史跡 ① 上台遺跡・上台北遺跡

あまり知られていないが、鶴見区では多くの遺跡が発見されており、縄文時代前期にはすでに人が暮らしていたことがわかっている。上台遺跡(宝泉寺台貝塚)もそのうちの一つ。ここでは弥生時代の竪穴住居跡も発見されており、末吉中学校では、プール横に住居の壁、柱の穴、いろりの場所が示され、図書館前では土器や石器が展示されている。上台北遺跡は弥生時代のもので、発掘された土器は区役所1階区民ホールで見ることができる。【下末吉6-13-1】



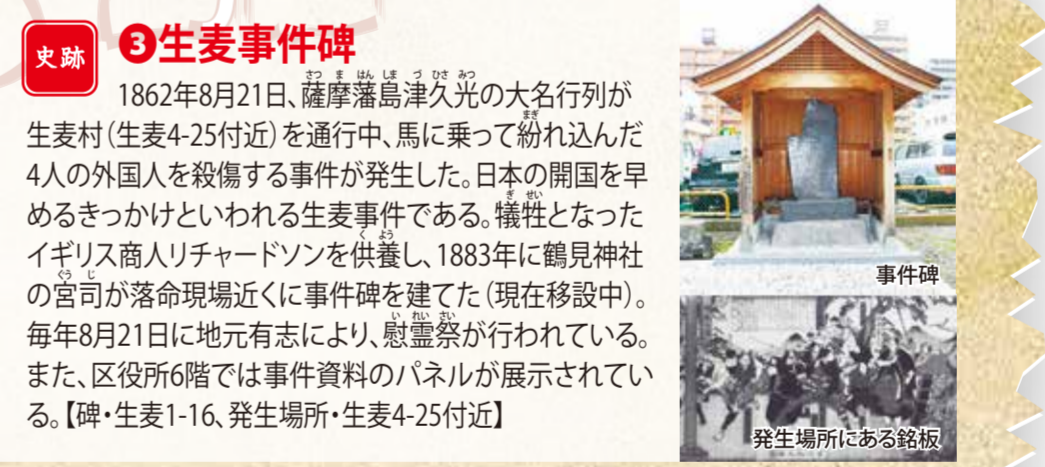
史跡 ② 寺尾城址

北条氏に仕えた武将・諏訪氏の居城跡。城といっても天守閣のあるような立派な建物ではなく、岩のような山城であり、武田信玄が小田原城を攻撃した際に落城したといわれている。現在は、諏訪氏の居城跡に碑が建てられ、空堀や土塁の跡などは殿山公園としてのこされている。また、近隣の旧跡にはその由来などが記された高札「てらお奉行」(22か所)もあり、寺尾城址以外の歴史にも触れることができる。【碑・馬場3丁目、殿山公園・馬場3-11】



史跡 ③ 生麦事件碑

1862年8月21日、薩摩藩島津久光の大名行列が生麦村(生麦4-25付近)を通行中、馬に乗って紛れ込んだ4人の外国人を殺傷する事件が発生した。日本の開国を早めるきっかけといわれる生麦事件である。犠牲となったイギリス商人リチャードソンを供養し、1883年に鶴見神社の宮司が落命現場近くに事件碑を建てた(現在移設中)。毎年8月21日に地元有志により、慰霊祭が行われている。また、区役所6階では事件資料のパネルが展示されている。【碑・生麦1-16、発生場所・生麦4-25付近】



参考文献:「寺尾城百話 鶴見の伝承集録」持丸輔夫(昭和52年)、「鶴見の史跡と伝説」鶴見歴史の会(昭和56年)、「鶴見区史」鶴見区史編集委員会編(昭和57年)、「鶴見の坂道」鶴見歴史の会・横浜市鶴見図書館編(平成3年)

指令2 区になる前の歴史を調べ

伝説の多くは、鶴見が区になる前から語り継がれてきたものであり、歴史に関係するものもある。歴史を知ることによって、伝説をもっと楽しめるはず！

- 縄文～古墳時代 区内各所に遺跡あり…左図①
- 1190年 源頼朝、京都に入る
馬場次郎、寺尾太郎など鶴見ゆかりの姓をもつ武士が同行した(『吾妻鏡』より)
 - 1221年 承久の乱
戦傷死者に、潮田四郎太郎、寺尾又太郎などの記録あり(『吾妻鏡』より)
 - 1333年 新田義貞率兵、鶴見合戦
鎌倉末～室町時代、鶴見は鎌倉へと攻め込む軍勢を防ぐ防御地点となっていた。この合戦で新田義貞が金沢貞将を破った
 - 1436年 諏訪氏が寺尾城を築く…左図②
 - 1569年 武田軍により、寺尾城落城
 - 1601年 五街道整備。鶴見橋(現・鶴見川橋)がかけられる
 - 1603年 徳川家康、征夷大将軍に就任
江戸時代、東京湾には「御菜八ヶ浦」と呼ばれ、特産を認められた8つの專業漁業集落があった。生麦村もその1つであり、江戸城に魚介類を献上していた
 - 1859年 横浜開港
 - 1862年 生麦事件発生…左図③
 - 1872年 鶴見駅開業
 - 1905年 京浜急行の前身京浜電鉄鶴見駅・鶴見市場駅・生麦駅開業
 - 1911年 大本山總持寺、鶴見へ移転
 - 1913年 浅野総一郎、鶴見海岸の埋立てを始める
実業家・浅野総一郎が鶴見埋立組合を組織し、約150万坪の埋立てを始める。埋立ては15年にもおよんだ
 - 1914年 花月園遊園地開園
新橋の料亭主人・平岡廣高が開園。動物園や観覧車など、数々の遊具があり、「東洋一の遊園地」と称された
 - 1923年 関東大震災発生
 - 1926年 鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
第一京浜国道全通
 - 1927年 鶴見区誕生(人口62,246人)

指令3 専門家に調査の極意を聞け



鶴見歴史の会 齋藤 美枝さん

鶴見の伝説や歴史は、知れば知るほど楽しい！

実は私、鶴見が大嫌いだっただんです。私が育った福島の農村の風景とは違い、灰色のイメージがあり、長い間なじみませんでした。けれど、子どもたちの故郷・鶴見のことを知らなければと思い、郷土史講座に参加したり史跡を散策したりするように。その中で、昔は鶴見にも私の故郷と同じ農村風景が広がり、素朴な人々の暮らしが歴史をつくってきたということを知り、親しみを感じるようになりました。心を開いて自分が一歩踏み出すことで、まちも人も近づいて来てくれるんです。この地に伝わる伝説やまちの歴史を知るには、郷土史講座に参加したり、散歩ついでにお寺や神社に行ってみたり、上に書かれた史跡などを訪れてみるのもいいですね。郷土史は尽きることがありません。知識は荷物にならず、心の栄養にもなるので、興味をもったところから扉を開けてみてください。

『古老が語る鶴見の百話』YOKOHAMA-TSURUMI未来を拓く女たちの軌跡『鶴見なつかしの写真集』等の取材編集に参画。『鶴見花月園秘話』東洋一の遊園地を創った平岡廣高』『鶴見總持寺物語』を著す。

歴史の会と学ばませんか？ 寺子屋あらかると朗読DEつるみ講座

大田南畝「調布日記」と、田宮虎彦「日比谷から鶴見へ」に描かれた、江戸時代と大正時代の鶴見をひも解きます。

7月19日(水)13時30分～15時30分
大本山總持寺(鶴見2-1-1)
¥500円 当日直接、三松閣1階へ
問 鶴見歴史の会
☎ 572-1636(齋藤)

指令4 お気に入りの場所を探せ

区内にある史跡のほか、町並みや歴史的建造物など、区内の名所を紹介した「鶴見みどころ90」が7月中旬にウェブで公開されるぞ！史跡の下調べなどに活用してみよう。

詳細はHP 鶴見みどころ90 検索

区役所地域振興係 ☎ 510-1687 fax 510-1892

COMING SOON まもなく公開！

鶴見みどころ 90

※画像はイメージです

調査完了

研究者デビューおめでとう！調査は終わるが、君の研究は始まったばかりだ。鶴見にはまだまだ伝説が眠っているぞ。おじいちゃん、おばあちゃんや近所の人に聞いたり、図書館で調べたりして、地元の伝説をもっと掘り下げてみよう！